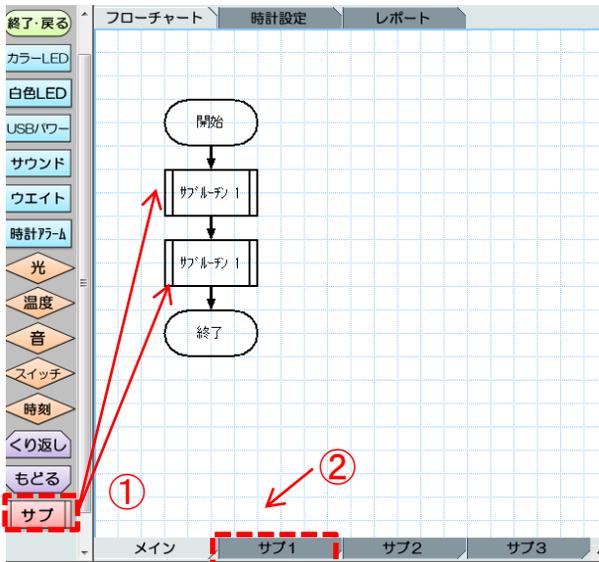


## 《サブルーチンとは》

何度も使用するプログラムを一つの命令にまとめることにより同じ命令を、何度も配置しなくてよくなる、プログラム命令のひとつです。フローチャート作成領域で表示される命令数が少なくなり、処理の流れが明確になります。

## 《操作手順》

- ①フローチャート作成領域に「サブルーチン」命令を配置します。

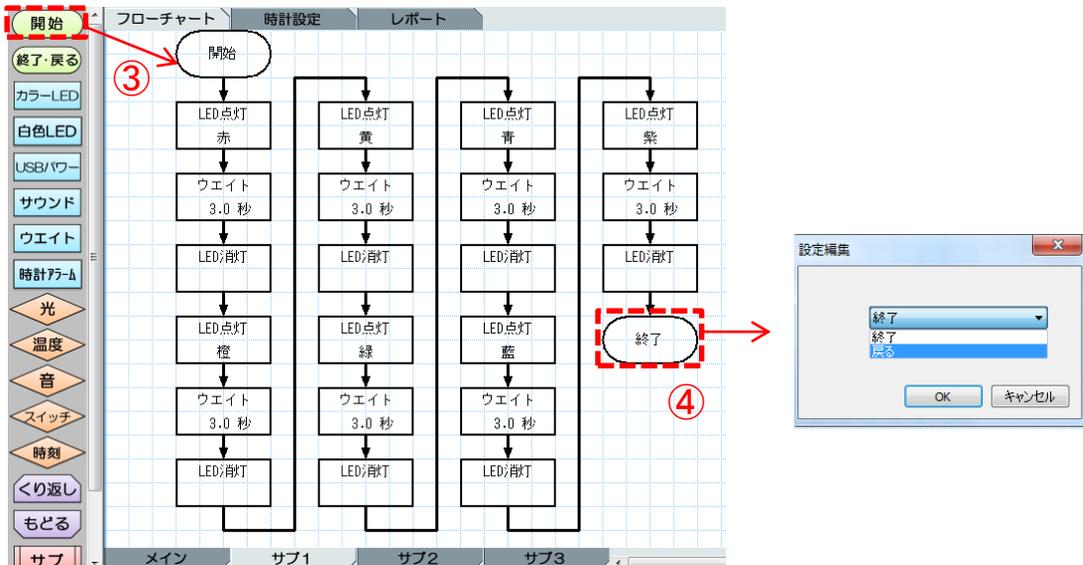


- ②エディタ下部「サブ1」タブをクリックします。

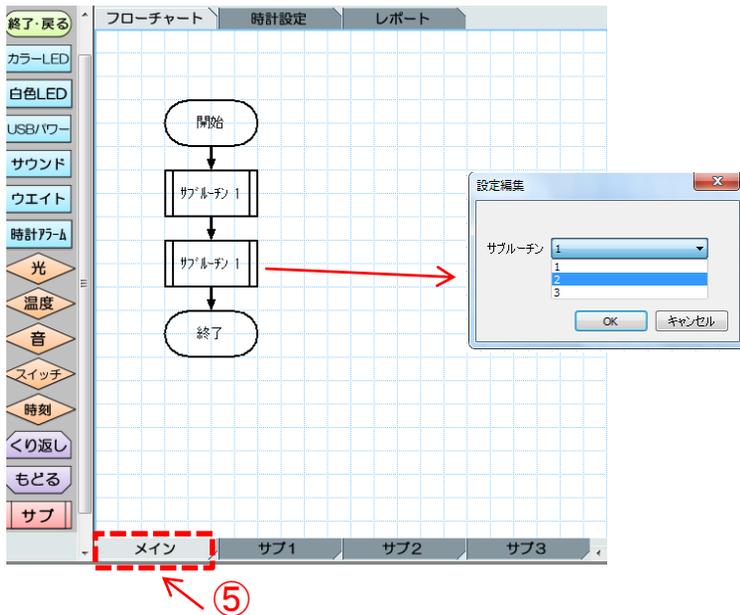
- ③サブ1タブのフローチャート作成領域で「開始」の命令を配置し、フローチャートを作成します。

- ④命令配置後、「終了」の命令を配置し、「終了」の命令をダブルクリックし「戻る」にします。

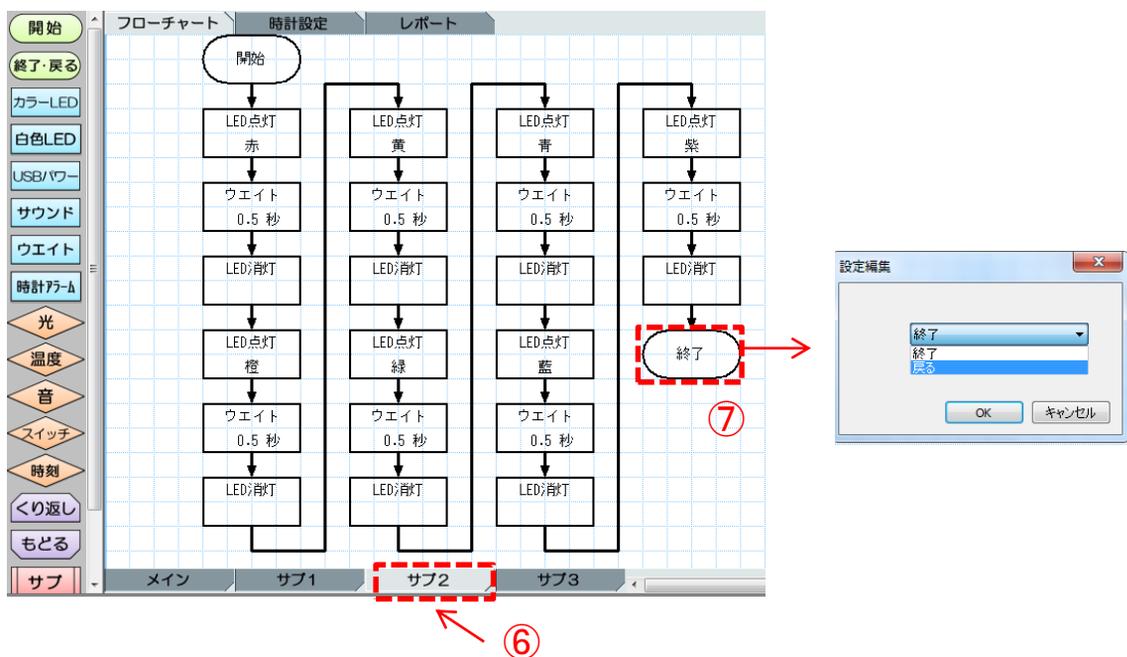
※「戻る」に命令を変更することでプログラムがメインのフローチャートに戻ります。



⑤サブルーチン2の作成を行う場合はエディタ下部「メイン」タブをクリックし、フローチャート作成領域に2つ配置してある「サブルーチン1」の1つを、ダブルクリックし「サブルーチン2」に変更します。



⑥サブ2タブのフローチャート作成領域で「開始」の命令を配置し、フローチャートを作成します。  
 ⑦命令配置後、「終了」の命令を配置し、「終了」の命令をダブルクリックし「戻る」にします。



#### ※サブルーチン注意事項

- ・サブルーチンは最大3つまで作成が可能です。
- ・サブルーチンのプログラムでの「終了」命令は必ず「戻る」に変更してください。  
 （「終了」のままですとプログラムが終了します。）